

令和元年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	令和元年8月7日（水）午前10時から12時まで 富山市役所第4委員会室
委員 （委員数5名） 出席4名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 金山睦美（税理士）
欠席1名	委員 彼谷環（富山国際大学教授）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成30年10月1日から平成31年3月31日まで
抽出工事 （落札率）	10件（対象工事件数274件） ① 一般競争入札（3件） ・水橋西部小学校耐震補強設備工事（100.00%） ・富山公共下水道経堂排水区長江東町二丁目地区長江東町第一貯留池築造（第2工区）工事（99.45%） ・水橋市江地区配水管布設替（その1）工事（98.71%） ② 指名競争入札（6件） ・城村地区給水管布設替（その1）工事（98.05%） ・30災3610-0006八尾町赤石用水路災害復旧工事（99.26%） ・市道大町本郷線改良工事（98.61%） ・市道総曲輪線外区画線補修工事（98.25%） ・長田橋外1橋補修工事（86.96%） ・市道新田牛滑線道路災害復旧工事（99.08%） ③ 随意契約（1件） ・水橋フィッシャリーナ水面係留施設付帯工事（99.18%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成30年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
① 「富山公共下水道経堂排水区長江東町二丁目地区長江東町第一貯留池築造（第2工区）工事」において、施工場所は集中豪雨等によって浸水被害がある場所か。道路改良による浸水対策はできないのか。	① 平成25年度、平成28年度に浸水被害があった。雨水幹線の能力不足を補うために、本来であれば雨水幹線を広げる等の処置をとるのだが、住宅密集地のためそれができず、公園地下に貯留池を作って能力不足を補っている。
② 「水橋市江地区配水管布設替(その1)工事」において、3者応札があったが、入札に参加する可能性があったのは何者あるのか。	② 水道管工事の総合点数がAランクの業者は16者あり、それらが入札可能だった。
③ 「城村地区給水管布設替（その1）工事」について、指名競争入札で指名業者を地理的条件に基づいて8者を選定されているが、地理的条件とはなにか。	③ 施工をする場所から距離的に近いところに事業所があること。また、本工事については近年、旧富山地域の発注が多く旧町村地域での案件が少なかったため、旧富山地域の南側に位置する場所であるが、旧富山地域と旧町村地域を合わせて選定したもの。
④ 「30災3610-0006八尾町赤石用水路災害復旧工事」について、辞退業者が多いが、設計金額の算定に関して、算定方法が厳しくて業者が辞退した様なことはあるか。	④ 国の基準に従って積算されているため、設計金額の算定が厳しくて辞退したということはないと考えている。
⑤ 「市道総曲輪線外区画線補修工事」において、区画線の材料に関して、品質管理の確認はどのように行っているか。	⑤ 区画線工事に限らず、工事に使用する材料はすべて事前申請させ、内容を確認し、どの業者が施工しても材料の品質は一定となるように管理している。
⑥ 「長田橋外1橋補修工事」について、橋梁補修工事は非常に重要な工事のため、指名基準と異なり、A・Bランク業者のみを指名するのは理解できる。一方で、C・Dランク業者は指名されず工事を請負えなければ、育っていかないとと思うが、今後も指名されないのか。	⑥ 橋梁補修工事に関しては工事発注を開始したばかりのため、指名基準よりも橋梁補修工事の経験を重要視し、施工中の安全を担保するためA・Bランク業者に指名を行っている。今後については、工事内容の簡易なものからC・Dランクまで指名するような運用にしていく意向。
⑦ 「水橋フィッシャリーナ水面係留施設付帯工事」において、随意契約の理由として、経費節減及び工期短縮が記載されていますが、どの程度節減・短縮を見込んでいましたか。	⑦ 随意契約ではなく、工事を別途発注する場合と比べると240万円の節減、工期短縮については1ヶ月の短縮が見込まれた。